



# ガバナー月信

vol.04 Oct / 2025



## 月信10月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 米山記念奨学生第2回親睦交流会
- ③ 国際奉仕フォーラム
- ④ 第2分区IM
- ⑤ アクトの日
- ⑥ 第5分区IM
- ⑦ 地区大会記念ゴルフ大会
- ⑧ 財団委員会通信
- ⑨ 地区主要行事予定(10月・11月)
- ⑩ 新入会員紹介・訃報
- ⑪ コーディネーターニュース
- ⑫ ハイライトよねやま



よいことの  
ために  
手を取りあおう

国際ロータリー第 2560 地区  
2025-26 年度  
**室賀ガバナー事務所**

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574  
ホテルイタリア軒 B1  
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



## ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー  
**室賀 信宏** (白根 RC)

公式訪問も、24 クラブを終え (9月19日現在) 折り返しも近づいております。今まで訪問したすべてのクラブで、会員増強をクラブの優先事項とされ、励んでいられることをとても心強く思っております。また、既に会員が増加していられるクラブもあり、今年度はその成果を非常に期待しているところもあります。9月13日には第3分区のIMが新津で開催され、私が「台湾ロータリーの現況」という演題で講演させていただきました。世界のロータリーで会員が増加している国が少ない中で、なぜ台湾で会員が増加しているのかを、私が台湾のロータリーと交流した中で経験したことをお話いたしました。やはりクラブの多様性と公共イメージの向上は会員増強においては不可欠であることを、私の経験に基づきお話いたしました。

さて、10月24日は世界ポリオデーです。ポリオ根絶は我々ロータリアンが世界の子供たちと交わした約束です。世界ポリオデーは、ロータリー会員、公衆衛生分野のリーダー、ポリオのない世界を願うすべての人びとが力を合わせ、ポリオ根絶活動の進展を祝うとともに、ポリオを永久になくすために行動を起こす機会です。本年も日本のロータリーではポリオデーのフォトコンテストを開催いたします。各クラブに置かれましてはポリオデーにちなんだ活動を記録として残し、その際に写された写真をフォトコンテストに応募してください。入選作品は11月に横浜で開催されるロータリー研究会で、表彰される予定となっております。また、今月開催される2560 地区大会においても講師として尾身 茂 様のポリオに関してのご講演を予定しております。地区財団委員会もブースを開設し皆様のご協力を呼び掛けいたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。



# 米山記念奨学生親睦交流会のご報告

米山記念奨学委員会

寄付増進委員会

委員

砂山 雅人 (長岡 RC)

8月24日(日)、25日(月)の二日間にかけて、今年度の米山記念奨学生親睦交流会を行いました。奨学生26名、カウンセラー11名、地区委員15名、合計52名の参加となりました。予算の関係で日～月曜日に交流会を実施したのですが、多くのカウンセラーに参加いただき奨学生との絆を深めていただくことができました。ありがとうございました。

今回の交流会は、清津峡、津南ひまわり広場、ニュー・グリーンピア津南でのグランドゴルフ・バーべキュー・花火・カラオケ・友禅体験、雲洞庵、長岡花火ミュージアム、という行程でした。ニュー・グリーンピア津南でのバーべキューには、津南RCから、第6分区ガバナー補佐高橋主計様、会長樋口明様にも出席いただきました。誠にありがとうございました。

奨学生は、皆心から今回の交流会を楽しんでいました。特に、友禅体験の際には黙々集中して取り組んでおり、日本文化への敬意を感じました。世界中で紛争が絶えませんが、国境や人種を越え、奨学生やロータリアンが一つにまとまり友好を深めている様子を目の前にしますと、これを起点として世界平和が実現される予感を抱くこともできました。

米山記念奨学委員会の活動は、ロータリアンの皆様のご寄付によって成り立っています。ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人物を育てるべく、皆様の寄付金を大切に使用させていただきたいと思います。今後も何卒よろしくお願ひいたします。









# 国際奉仕フォーラム報告

国際奉仕委員会

委員長

片桐 豊 (新潟南 RC)

国際奉仕委員会の基本方針は、①海外姉妹クラブ、友好クラブの交流促進と現状 ②グローバル補助金、地区補助金を使った海外・国内での奉仕プロジェクトの促進と現状 ③台北国際大会への参加 ④国際奉仕フォーラムの開催 です。

2025年8月30日（土）ホテルイタリア軒にて、国際奉仕フォーラムを開催しました。

## 1. 海外姉妹・友好クラブについて事例発表

- A. タイ・チェンライ・メーチャン RC 発表者：大澤 力（新潟西 RC）
- B. 台北板橋東区扶輪社 発表者：延澤 儀一（高田東 RC）
- C. 台北原民 RC 発表者：渡辺 直樹（佐渡南 RC）

## 2. 青少年交換部門

- A. 青少年交換プログラムの概要 青少年交換委員長：神谷 勇一（糸魚川中央 RC）
- B. 青少年交換学生帰国報告
- C. 長期受入学生の紹介
- D. 青少年交換学生の募集のご案内 青少年交換副委員長：外山 浩玲（三条 RC）

## 3. ロータリー財団部門

- A. ロータリー財団とは ロータリー財団委員長：高尾 茂典（新潟中央 RC）
- B. 地区補助金活用事例発表 徳永 昭輝（新潟 RC）
- C. グローバル補助金申請について 補助金副委員長：今井 進太郎（長岡東 RC）
- D. 地区補助金申請について 補助金副委員長：品田 史夫（新潟東 RC）
- E. ポリオプラスについて 寄付・資金・ポリオプラス：高坂 光一（高田 RC）

以上、非常に内容の濃いフォーラムとなりました。

また、台北国際大会（2026年6月13日～17日）は台北ドームにて開催されます。2560地区としてはガバナーワン針で地区内200名の参加を希望しております。また、地区のツアーとしては（2026年6月13日～16日）羽田空港発着にて40名の募集を行います。大勢のロータリーメンバーが参加し、世界のロータリアンとの交流を期待しております。





## 第2分区IMについて

第2分区ガバナー補佐

**大野 雅弘** (新潟中央 RC)

9月の残暑厳しい9月6日（土）に第2分区のIMが新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟にて、午後1時30分より開催されました。第2分区の9ロータリークラブより131名の参加でした。今回のIMの基調講演は、「人生100年時代—健康寿命に生きる」というテーマでした。第1部は内山政二先生（整形外科医、新潟中央ロータリークラブ所属）で、「上手な医者のかかりかたについて」の講演でした。医師側からみての患者さんの医師に相談するタイミングや、どの科に受診したらよいのか？などについてのわかりやすい講演でした。さらに健康のために、寝たきりにならないための運動についてわかりやすい具体的な講演でした。

第2部は私（大野雅弘、産婦人科医、新潟中央ロータリークラブ所属）が「ストップ認知症」という題で講演しました。高齢社会になって高齢者にとって寝たきりと認知症は大きな問題です。認知症にならないためには、早期から生活習慣を見直し、生活習慣の改善の必要性について講演しました。アトラクションとして東京から落語家をお呼びしました。「米山梅吉物語」と題してロータリーに関連する話で、米山梅吉の一生をユーモアたっぷりにわかりやすい落語口調でお話をいただきました。

懇親会はホテルの美味しい中華料理と美味しい老酒、紹興酒で、有意義なそして楽しい時間を過ごしました。

今回のIM担当クラブの新潟万代ロータリークラブ会長とガバナー補佐エレクトによる話で、5時30分に終了となりました。



## アクトの日

地区ローターアクト代表  
**高橋 優太** (新潟 RC)

9月7日（日）、アクトの日を開催いたしました。当日は友好地区のローターアクターをはじめ、地区およびクラブのローターアクト委員の皆様にもご参加いただき、総勢31名での開催となりました。ご参加いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

本行事は、ローターアクト会員の地域社会課題に対する意識向上と、地域に向けたアクト活動の広報を目的とし、ローターアクトの「ク」と「ト」にちなみ、9月10日に近い日曜日に全国有志の地区で実施している活動です。今回は、地区ターゲットとして掲げている「奉仕」「学び」「親睦」の3つの柱をもとにプログラムを構成しました。

午前中の「学び」プログラムでは、地域の環境課題に取り組む会員より「松林の保全活動」についての卓話をいただきました。午後の「親睦」プログラムでは、関屋浜でのバーベキューを通じ、クラブの垣根を越えた交流を深めました。最後に「奉仕」プログラムとして、ローターアクトのロゴ入りジャンパーを着用し、関屋浜の海岸清掃を行いながら地域に向けたアクト活動のPRも実施いたしました。

行事を通じて、「お互いの例会に参加し合おう」「クラブ運営でこういう悩みがある」などのやりとりもあり、クラブ間の交流が促進され、アクト活動への意識向上にもつながったと感じております。

結びに、皆様のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げるとともに、ご参加いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。今後ともローターアクト活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





## 第5分区IM開催にあたり

第5分区ガバナー補佐  
**齋藤 洋介** (栃尾 RC)

本日は、国際ロータリー第2560地区第5分区インターミーティングを、皆様と共に無事に終えることができましたことを心よりありがとうございます。分区内の仲間が集い、互いの顔を見ながら語りあえるこのひとときは、ロータリー活動の原点を改めて感じさせてくれる大切な場であったと実感しております。

UNE代表・家老洋様のご講演では、障がいのある方々と地域農業を結び付けた取り組みを、具体的な実践を通してご紹介いただきました。そのお話は、地域社会を支える新しい形を示すものであり、私たちの奉仕活動に多くの示唆を与えてくださいました。ロータリーの「人のために尽くす心」が地域にどのように生きていくのかを考える貴重な機会になったことだと思います。

また、各クラブの会員同士が交流を深め、活動の工夫や経験を語り合うなかで、新しい視点や気づきを得ることができました。こうした出会いと学びの積み重ねが、やがてクラブの力を高め、地域へのより良い奉仕へつながっていくものと信じております。

今回のミーティングが円滑に進められましたのも、ホストクラブである栃尾ロータリークラブの皆様のお力添えのおかげです。ご準備から当日の運営に至るまで、細やかなご配慮をいただき、参加者一同が心地よく過ごすことができましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

本日の学びと交流を胸に、室賀ガバナーのテーマ「ロータリーで善の循環」を指針としながら、分区の仲間とともに着実に歩みを進めてまいりたいと存じます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



# 国際ロータリー第 2560 地区 2025-26年度 地区大会記念チャリティーゴルフ大会

9月24日(水)、25日(木)2日間にわたり湯田上カントリークラブに於きまして地区大会記念チャリティーゴルフ大会が盛大に開催されました。1日目は秋晴れのゴルフ日和、2日目は午後から少し雨の降る時間もありましたが、県内48クラブ367名が参加し、プレイを楽しみました。参加賞として全員に白根特産の梨(あきづき)、そしてワンオンされた方にはシャインマスカットが贈呈されました。無事に大会を終えましたことをご報告いたします。今大会の運営にご協力いただきました第3分区のメンバーはじめ、関係各位に熱く御礼申し上げます。

尚、今大会の結果につきましては、地区大会にてお知らせいたします。

実行委員長	田伏厚志
副実行委員長	大矢昭弘
副実行委員長	笠原義宗
副実行委員長	栗林一秀
副実行委員長	中野幹也
副実行委員長	齋藤博文
競技委員長	齋藤 隆
実行委員	関 陸夫
担当幹事(記録・会計)	渡辺幸雄





UNITE  
FOR  
GOOD



# 「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信

ポリオ根絶にはきれいな水！ パキスタン カラチ水事情

ロータリー財団委員会  
寄付・資金・ポリオプラス委員会  
委員 高坂 光一（高田 RC）

2019 年に初めてポリオワクチン投与活動でカラチに訪問して以来、様々な場所で水事情の悪さに触れ、「ワクチン投与に加えて基本的衛生環境の整備が絶対」と感じています。

水事情と言っても決して水がないわけではありません。カラチは眼前にはアラビア海が広がり、少し井戸を掘ればすぐ水が湧きますが、私が見た井戸の水は塩分が混ざり飲用には適さず生活用水や農業用水として利用されていると聞き、飲用は基本的に上水道、浄水プラント（給水場）、給水車による定期的給水に頼っているそうです。

それならばインフラ整備と維持管理教育にもっと力を入れ進めることで解消できるのでは？と思ひ尋ねたところ、急激な人口増加にインフラ整備がまったく追いつかないことに加えて、慢性的な電力不足、資材不足、維持管理問題など影響し、郊外の農村部や私たちが訪問活動するエリアには安定して十分な量のきれいな水は行き届いていないようです。

それは市街地も同様で、一昨年大阪アーバン RC がグローバルプロジェクトとして寄贈した浄水プラントの視察をするために訪れたカラチ市郊外の高層住宅が建ち並ぶ住宅エリアでも、すぐ近くに行政の設置した蛇口の並ぶ給水スポットがあったので、なぜ近くに新しいプラントの設置が必要なのかと尋ねたところ「このエリアは水圧が不足し上水道の断水も頻繁に起こるので、高層住宅の人たちも水を汲みに来る必要がある。そのため行政がこのエリアに十数か所の浄水プラントを設置したが、整備が十分でないため現在はほとんど機能していないく、あの水は飲むことはできない」と聞きました。これではいけません。



この水は触れてはいけないとと言われました



グローバル寄贈プラント



盗難防止のための宿直用ベッド

街中でもこの状態ですので、郊外の農村部に行けば言うまでもなく更に厳しい状態です。

2024年、カラチ市街から高速で約2時間離れたミラプール・サルコという村でも井戸の水は塩分が混ざって飲料水に使用できず、川や池の水を飲料水や炊事、その他洗濯、身体を洗うために利用しているそうです。私たちはあえてポリオ感染ハイリスクエリアが選ばれ訪問しているのかもしれません、「もし、この川や池でポリオに感染した子供のおむつを洗った場合、ポリオウイルスに触れてしまうリスクは高いな」と感じるばかりです。

水の問題については文字数の関係でまた機会があればお伝えしようと思いますが、皆様にも現地で私の見るもの感じることを共有できる日がくればと願っています。



透明だが飲めない 農業用・身体を拭く



濁った池の水 飲料水・炊事・洗濯



川の水も彼らの貴重な生活用水

## 第 2560 地区 2025-26 年度 8 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2025年7月1日	8月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	/	-	378	380	45	2
新発田	3	32.2%	90	91	1	1
村上	3	23.7%	38	38	8	0
水原	3	31.4%	34	35	2	1
中条	3	100.0%	48	48	3	0
新発田城南	3	23.7%	38	38	5	0
豊栄	2	35.0%	21	20	2	-1
新発田中央	3	15.9%	44	44	6	0
中条胎内	3	52.5%	39	40	11	1
村上岩船	3	26.9%	26	26	7	0
第2分区(9クラブ)	/	-	453	470	37	17
新潟	3	35.4%	74	76	3	2
新潟東	3	17.8%	66	73	12	7
新潟南	3	38.5%	114	117	8	3
佐渡	1	66.7%	3	3	0	0
新潟西	3	64.3%	53	56	4	3
佐渡南	3	11.6%	43	43	3	0
新潟北	3	30.0%	37	40	1	3
新潟中央	3	37.5%	24	24	0	0
新潟万代	4	57.9%	39	38	6	-1
第3分区(5クラブ)	/	-	97	100	9	3
新津	2	62.5%	16	16	1	0
村松	3	68.4%	19	19	1	0
白根	3	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	40.0%	25	26	5	1
阿賀野川ライン	3	40.0%	5	5	0	0
第4分区(11クラブ)	/	-	343	346	33	3
三条	3	17.9%	54	56	1	2
燕	3	7.3%	41	41	3	0
加茂	3	14.8%	27	27	4	0
三条南	3	20.5%	38	39	3	1
分水	3	66.7%	33	33	4	0
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	3	19.1%	46	47	5	1
巻	3	8.7%	22	22	2	0
田上あじさい	4	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	23.5%	34	34	5	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2025年7月1日	8月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	/	-	283	288	26	5
長岡	3	62.2%	43	45	5	2
柏崎	3	17.8%	45	48	0	3
長岡東	3	31.6%	57	57	7	0
柏崎東	3	21.1%	38	39	2	1
栃尾	3	26.3%	19	19	1	0
長岡西	3	20.5%	46	44	1	-2
柏崎中央	2	28.6%	35	36	10	1
第6分区(6クラブ)	/	-	117	119	13	2
十日町	3	26.3%	38	38	8	0
小千谷	3	14.8%	25	27	2	2
雪国魚沼	3	76.0%	25	25	2	0
十日町北	2	0.0%	9	10	1	1
津南	3	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	2	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	/	-	305	313	22	8
高田	4	38.5%	63	65	3	2
直江津	3	34.2%	74	76	6	2
新井妙高	3	21.6%	36	37	1	1
糸魚川	3	81.4%	45	45	3	0
高田東	3	51.6%	30	30	2	0
糸魚川中央	4	51.5%	30	33	3	3
越後春日山	3	81.5%	27	27	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
8月末会員数	2,016 人
女性会員数	185 人
純増減会員数	40 人
My Rotaryアカウント登録率	35.5 %

## 地区主要行事予定

2025年9月24日現在

年	月	日	行 事	会 場
地域社会の経済発展月間・米山月間				
10月  2025年 (R7) 室賀年度	1	(水)	⑤長岡東RC 公式訪問	ホテルニューオータニ長岡
	2	(木)	⑥小千谷RC 公式訪問	ホテルプラザ片山
	4	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
	4	(土)	第2回ガバナー補佐ラーニング	まちなかキャンパス長岡
	5	(日)	第1回第一分区新発田エリア献血キャンペーン	イオン新発田店
	6	(月)	④三条南RC 公式訪問	三条信用金庫本店
	7	(火)	⑤栃尾RC 公式訪問	割烹 大覚
	8	(水)	⑥雪国魚沼RC、越後魚沼RC 合同公式訪問	ホテル坂戸城
	9	(木)	①村上RC 公式訪問	大観荘 せなみの湯
	11	(土)	室賀年度 第7分区IM (小田島G補佐・糸魚川)	ホテル國富 翠泉閣
	14	(火)	危機管理委員会	ホテルオーディア新潟
	15	(水)	⑥十日町北RC 公式訪問	十日町商工会議所
	16	(木)	④巻RC 公式訪問	ほたるの里交流館
	17	(金)	⑦高田RC 公式訪問	デュオ・セレッソ
	20	(月)	①新発田RC 公式訪問	割烹 志まや
	22	(水)	⑦新井妙高RC 公式訪問	新井商工会議所3階 大会議室
	23	(木)	④加茂RC 公式訪問	加茂市産業センター
	25	(土)	室賀年度 地区大会1日目／RI会長代理歓迎懇親会	ホテルイタリア軒
	26	(日)	室賀年度 地区大会2日目	ANAクラウンプラザホテル新潟
	27	(月)	①村上岩船RC 公式訪問	(有)住吉屋
	28	(火)	②新潟RC 公式訪問	ホテルイタリア軒
	30	(木)	⑦直江津RC、越後春日山RC 合同公式訪問	ホテルハイマート
ロータリー財団月間				
11月	1	(土)	富山年度 クラブ会長幹事ラーニング	当間高原ホテルベルナティオ
	4	(火)	③新津中央RC 公式訪問	割烹 一楽
	5	(水)	①新発田中央RC 公式訪問	割烹 志まや
	6	(木)	⑦糸魚川IRC 公式訪問	ヒスイ王国館
	7	(金)	⑦糸魚川中央RC 公式訪問	ヒスイ王国館
	8	(土)	高田RC創立70周年記念式典	デュオ・セレッソ
	8	(土)	米山記念奨学生学友会総会	ホテルイタリア軒
	11	(火)	④三条北RC 公式訪問	三条ロイヤルホテル
	12	(水)	③新津RC 公式訪問	割烹 樹形屋
	13	(木)	⑥十日町RC 公式訪問	十日町商工会議所
	14	(金)	④吉田RC 公式訪問	
	17	(月)	ロータリー財団地域セミナー	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	18	(火)	第2回ガバナー会議	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	18	(火)	RI会長ご夫妻・TRF管理委員長歓迎懇親会	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	18	(火)	メジャードナー午餐会	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	18	(火)	ガバナーノミニー・ラーニング・セミナー (GNLS)	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	18	(火)	第2回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #2)	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	19~20	(水～木)	第54回ロータリー研究会	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他
	22	(土)	2025-26年度長期派遣学生選考試験	ホテルオーディア新潟
	27	(木)	③阿賀野川ラインRC 公式訪問	
	29	(土)	地区ロータリー財団 補助金管理セミナー	ホテルイタリア軒

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟東	東條 誠	2025.08.01	(有)東條工業所	代表取締役	製缶業
三条北	大野 信一	2025.08.05	(有)角屋餞心亭おゝ乃	代表取締役	結婚式場
新潟東	元村 厚太	2025.08.22	(有)美容室サエ	代表取締役	菓子製造業
新潟東	佐藤 一樹	2025.08.29	サッポロビール(株) 東日本本部新潟支社	支社長	ビール製造
小千谷	椿 優花	2025.09.04	すなっく NeO	代表	スナック
高田東	平林 健恒	2025.09.08	(株)平林塗装	代表取締役社長	建築鋼構造物塗装





## 第1地域 台北国際大会推進チーム 岡村 瞳美（川口 RC）

2026年台北国際大会は6月13日～17日に台北ドームにて開催されます。

日本チーム推進委員長は出村知佳子さん(第2510地区 札幌北ロータリークラブ)です。

「RI理事主催親善朝食会」は2026年6月14日7:00AMより圓山大飯店12階で執り行われます。私たち推進委員は一万人の登録参加を目指していきます。

台湾は日本から近く、多くのクラブが友好、姉妹関係を結んでおり馴染みの深い国です。

台湾の次に登録者数が多いことを目指しています。

ロータリー章典に記載がございます通り、国際ロータリ一年次大会の主な目的は、国際レベルにおいて、全ロータリアンを刺激、鼓舞、激励し、かつ情報を与えること、ならびに組織の戦略目標を進展させるためのフォーラムとして機能することです。この年次大会は国際ロータリーの年次業務会合にもあたります。



国際大会の登録を許可されたものには 1.ロータリアン 2.ローターアクター 3.インターアクター 4.青少年交換学生 5.財団奨学生 6.ロータリアンではないロータリー学友 7.ロータリークラブ、各地区の職員 8.故人となったロータリアンのパートナーです。

国際大会への登録を希望するこの他の人は、資格のある大会登録者に同行する有料のゲストとして登録することができます。全ての国際大会登録者は、理事会が定めた該当する大会登録料を支払うものとします。故人となったロータリーシニアリーダーのパートナーがロータリアンではない場合は、ロータリアンのゲストとしてではなく、独自に国際大会に登録することが認められています。

国際大会では、ロータリーについて広報する重要な機会が与えられています。また、出席しているロータリー会員にクラブや地区の広報活動に関する貴重な指針と意欲を提供します。

国際大会中の全ての会議はロータリーに関連した話題について話されます。主な講演者、ロータリー会員ではない講演者の話には、話題をロータリーに関連づけるようなものになっています。

本会議におけるプレゼンテーションは、RI戦略計画と一貫性のあるものとなっています。

何といっても国際大会に参加すると自分が国際ロータリーの一員であるということを自覚し、大勢の多国籍の人達との友情を育む機会として貴重な体験ができます。

まさに国際ロータリーの一員であるという醍醐味を実感し、国際大会参加者は退会しないという過去の実績もあります。国際大会に参加することによってしか味わえない貴重な時間を皆様と共に過ごせることを願っています。

御家族、友人、ロータリー会員ではない方々にも、ぜひお声掛けいただきたく思います。

日本から一万人の笑顔で会場を埋め尽くしましょう！



ポリオ根絶に向けた草の根の運動

## 第2地域 ポリオ根絶コーディネーター(EPNC) 柳生 好春 (野々市RC)

先ごろ、2024-25年度「ポリオプラスへのクラブ参加率」が地区単位で明らかになりました。

第一地域平均86,09%、第二地域89,78%、第三地域83.55%と世界41地域中のトップスリーを占めました。100%地区も6地区あり、2540、2570、2820、2760、2780、2660の各地区です。

34地区平均は86,27%であり、世界の平均は61,9%となっています。

特筆すべきは、2021-22年度の34地区平均72,5%に対し、この3年間で13,77ポイントアップしたことです。ポリオプラスに対する理解と寄付が着実に進んでいることが分かります。日本のロータリーの素晴らしい1つです。



また、DDF20%以上寄付地区は第一地域では2510、2540、2550、2830、2840の5地区、第二地域は2580、2600、2610、2750の4地区、第三地域は2640、2650、2670、2680、2690、2710、2730、2740の8地区で世界41地域中、第4位の高額寄付地域となっています。

1988年にGPEIができた当時のポリオは125か国、症例数は35万人にも上りました。

現在はその当時から99,9%減少し、もう一步のところまでできています。そこで2016年にアメリカのオレゴン州から始まった「ポリオプラス・ソサエティ」(PPS)の認証制度が注目されます。毎年100ドルを「ポリオプラス基金」に寄付することを誓約することによって「ポリオプラス・ソサエティ」のメンバーとなるものです。メンバーになると登録証とピンバッジが贈呈されます。

日本ではいま、1人あたり30ドルをポリオプラスの寄付目標額としています。その金額に70ドルを上乗せしてもらえばよいのです。

R財団情報に「毎年、財団への寄付総額のうち500万～600万ドルは、25ドル～99ドルの寄付によるものである。すべての会員が毎年寄付すれば、人々の人生を変える持続可能なプロジェクトが可能となる。金額の大小ではなく、すべての寄付が大きなインパクトをもたらしている」があります。このような考えに基づき、PPSを推進することこそポリオ根絶の草の根の運動と言えるのではないでしょうか。

※GPEIとは「世界ポリオ根絶推進活動」で、RI(国際ロータリー)、WHO、UNICEF(国連児童基金)、CDC(米国疾病対策センター)、ゲイツ財団、GAVI(ワクチンアライアンス)の6団体がポリオ根絶に向けて連携している



### 第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 堀川 貴史（熊本南RC）

ロータリー財団の年次基金-シェアへの寄付が、3年間投資された後に地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に配分されます(5%は運営費)。これをシェアシステムといいますが、2025-26年度から、各年度末に5年を超えて未使用であるDDFは、地区の裁量で、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、WFのいずれかに再配分されます。地区が2026年6月30日までに資金の配分先をロータリー財団に通知しない場合、未使用のDDFは2026年7月1日にWFに充当されます。これは毎年多額のDDFが使われずに繰り越されることを懸念して2021年に制定されました。DDFを使用して財団を支援する方法について、各地区でご検討ください。



ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。その象徴がまさにポリオ根絶です。ロータリーでは1985年に「ポリオプラス」を開始し、1988年にWHOとともに「世界ポリオ根絶推進活動」を立ち上げ、活動してきました。現在はパキスタンとアフガニスタンを残すのみです。世界で最後にポリオが残っている地域が情勢不安定な地域であるのは偶然ではなく、疾病と戦争は古くから結びついているのだと、テドロス・アダノムWHO事務局長は昨年度の国際大会で語りました。

10月24日は世界ポリオデー。私には夢があります。それは「世界ポリオデーを、バレンタインデーのような市民行事に育てる」というものです。2月14日にチョコレートや花束を贈り合う姿が世界の街中でみられるように、10月24日には赤いTシャツを着た人々が街にあふれ、ポリオ根絶と世界平和が自然に語られる、そんな光景を思い描いています。

夢物語に聞こえるかもしれません、その第一歩は、私たち自身が踏み出すことから始まります。職場のスタッフと一緒に赤いTシャツを着る、「世界ポリオデー特別例会」を企画して赤いTシャツで揃える、インタークトやローターアクトと連携して地域でアピールする。小さな行動が社会を巻き込み、世界を変える大きなうねりに成長します。

それは単なるパフォーマンスではなく、社会に強烈なインパクトを与え、ロータリーの公共イメージを高め、寄付や協力の輪を大きく広げていきます。

制度の理解と寄付の活用が“内なる力”ならば、赤いTシャツは“外への発信力”。二つの力が世界を変える力になります。

ロータリーは「夢を現実にする組織」です。私たちが「ポリオをなくした世代」として歴史に名を刻む日が近づいています。近い未来の10月24日、街中が赤いTシャツで埋め尽くされ、子どもたちの笑顔があふれる光景を想像してください。その時、ある子どもが言うのです。

「このTシャツ、この街のロータリークラブから始まったんだって！」



## 1 図書館プロジェクトにモンゴル米山学友会が協力

9月1日、モンゴル・ナライハ区の第109番小学校にて「図書館プロジェクト」の贈呈式が行われました。

このプロジェクトは、同校から「校内に図書館を整備したい」との要望を受け、モンゴル米山学友会が2023年に始動したものです。

学友会は同年より準備を進め、2024年10月



第109番校で贈呈式を開催

には、学友の世話クラブであった縁から、第2550地区（栃木）の下野上三川RCが現地を訪問し、30万円を寄付しました。さらに今年3月には、モンゴル国内の個人支援者の協力により、内装工事や家具・パソコンの整備が完了しました。しかし、蔵書購入のための予算は依然として不足していました。

そこで、同学友会はモンゴルを訪問中だった当財団の学友委員である嶋村文男氏に相談。嶋村氏の紹介により、第2820地区（茨城）の境RCが支援を申し出、8月31日に現地を訪問のうえ25万円を寄付しました。これにより、必要な蔵書を購入することができました。

贈呈式には、約2年にわたりプロジェクトに携わったモンゴル米山学友会をはじめ、各クラブや学校関係者が出席。子どもたちが笑顔で本を手にする姿に、大きな喜びが広がりました。

## 2 親子三代夏祭りで共に神輿を担ぐ

8月18日、千葉県で「親子三代夏祭り」が開催され、米山奨学生・学友14人、青少年交換留学生1人、さらに同地区の内村愛米山記念奨学委員長を含む23人が参加しました。

「親子三代夏祭り」は、新しく千葉市に来た人も、昔から住んでいる人も一緒に楽しみ、誰もが千葉市を「自慢のふるさと」と感じられるようにと始まったお祭りで、今回は記念すべき第50回の開催となりました。

多くの地元住民が集まるこの場で、参加者たちは「地域で奉仕活動を行うロータリークラブを市民に知っていただくこと」や「米山奨学生・学友に日本文化を体験してもらうこと」を目的として参加しました。



神輿の前で記念撮影

米山奨学生・学友たちは、地区が製作したオリジナル半纏を着用して神輿を担ぎ、祭りの熱気と活気を肌で感じました。その後の懇親会では、感想を語り合いながら交流を深めました。

## 海外米山学友会総会情報

◆韓国◆ 2025年11月8日（土）ソウルパシフィックホテル開催

詳細未定のため、決まり次第お知らせいたします（前日7日に前夜祭開催予定）

### 3 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

前年同期比

-5.1%

普 -2.4% 特 -9.7%

8月までの寄付金は、前年同期と比べて5.1%減(普通寄付金:2.4%減、特別寄付金:9.7%減)、約1,480万円の減少となりました。半期に一度、地区から会員数を報告いただいているが、今

年度は81,250人と、前年から約640人減少しています。こうした状況の中、多くの方々から絶え間ないご支援をいただき深く感謝申し上げます。10月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」としての認定を受けているため、当財団への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられ、相続税も非課税となります。来月も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

### 4 理事会と評議員会を開催

8月22日に第48回理事会を都内にて開催しました。当日は、全国から27人の理事、3人の監事、役職理事7人が出席。また、今年2月より立ち上げられ、2026年1月まで協議される「中長期ビジョン検討タスクフォース(座長:相澤光春副理事長)」および「日本人海外留学支援検討タスクフォース(座長:服部良男学友委員会委員)」について、各座長から中間報告が行われました。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、第1号~第7号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。

#### 【第48回理事会の主な議案】

「海外学友会に対する業務委託にかかる覚書」一部改訂／2024年度事業報告／2024年度計算書類／2025年度収支予算書一部修正／2025年度専門委員選任ほか

また、9月10日には第17回定期評議員会を開催し、全国から評議員24人、役職理事7人と監事3人が参加しました。評議員会の開会に先駆け、故小沢一彦名誉理事長の追悼映像の上映と、黙とうを行いました。また、7月から活動を開始した第6代よねやま親善大使3人のうち、出席した2人がスピーチを行いました。

評議員会では、出席評議員の中から議長が選ばれることが定款で定められており、第2770地区の渡邊和良評議員が議長に選出されました。渡邊議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告②職務執行の状況報告③2024年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「2024年度計算書類承認」などが諮られ、全て原案通り承認可決されました。終了後は評議員会研修会として、新公益法人制度や台北国際大会等の情報をお知らせしました。

### 5 まもなく米山月間資料が届きます(9/22発送)

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ1人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9月中旬に当会HPで公開予定です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長のてびき(米山寄付金マニュアル合併版)」「2024年度事業報告書」「2024年度決算報告」「よねやま親善大使チラシ」、2025年6月に完成したばかりの「米山学友の群像vol.6」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。

